



2019年度

**「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／  
自動運転（システムとサービスの拡張）／  
イベント等による社会的受容性の醸成効果測定に関する調査」  
に係る公募説明会資料**

- ◆SIP第2期自動運転（システムとサービスの拡張）概要（ 5分）
- ◆公募概要（20分）
- ◆質疑（15分）

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  
ロボット・AI部

---

---

# 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期 ／自動運転（システムとサービスの拡張）

## 全体概要

## 【社会的意義】

### 道路交通における安心・安全の確保

- 交通事故の低減  
交通事故死者低減目標  
2017年3,694人→2,500人以下に
- 交通渋滞の削減



### 少子高齢化・生産性革命への対応

- 地域の移動手段の確保
- 人手（ドライバー）不足の解消 等

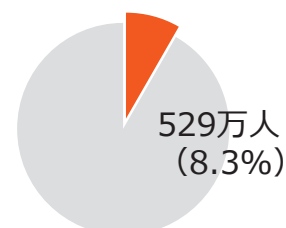


## 【産業的意義】

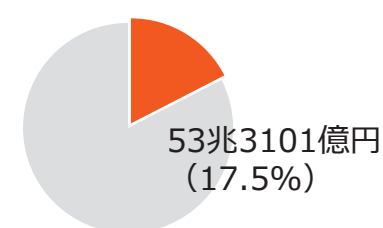
### 自動車産業の競争力強化

自動車製造業の出荷額：主要製造業の約2割

就業人口



製造品出荷額



### 新たな産業の創出



車載センサー  
(カメラ、レーダー等)



通信機器

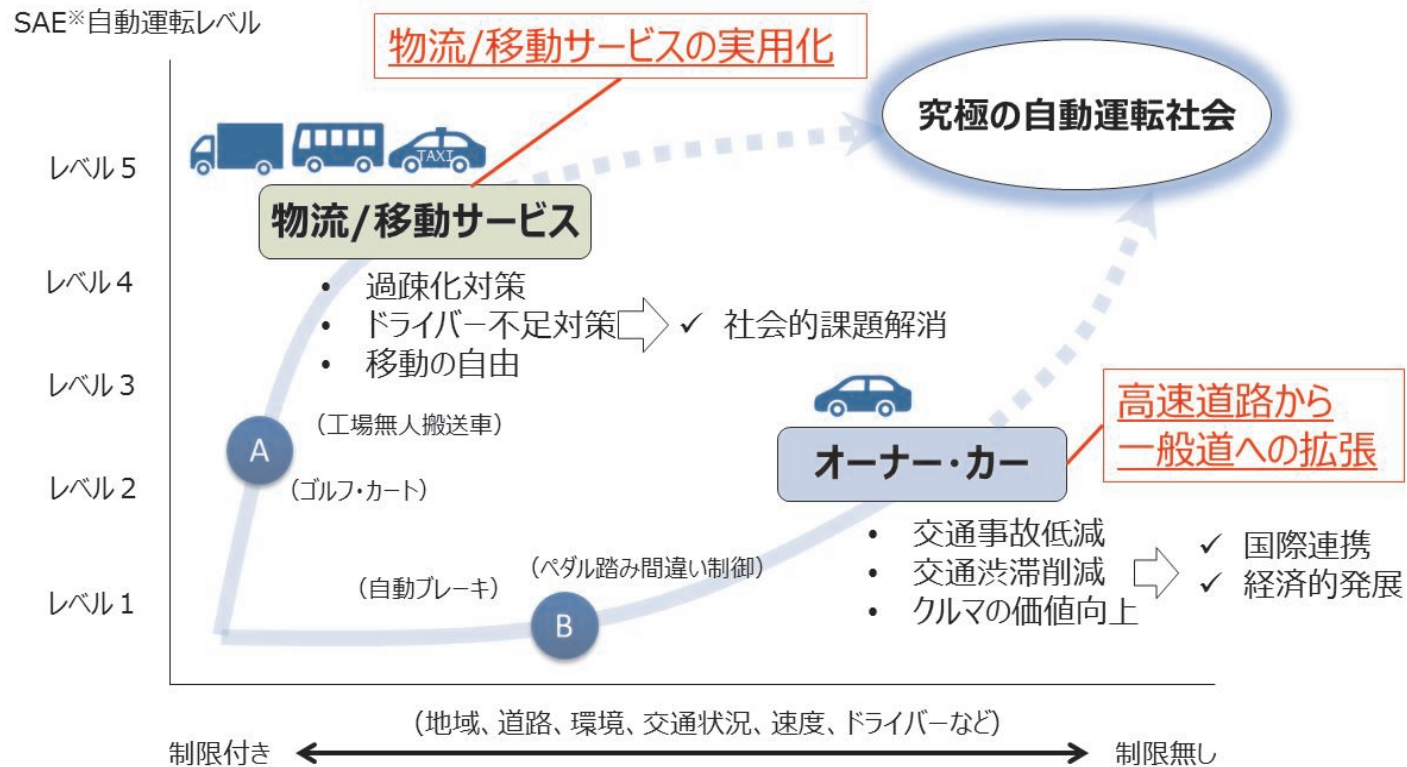


デジタルインフラ

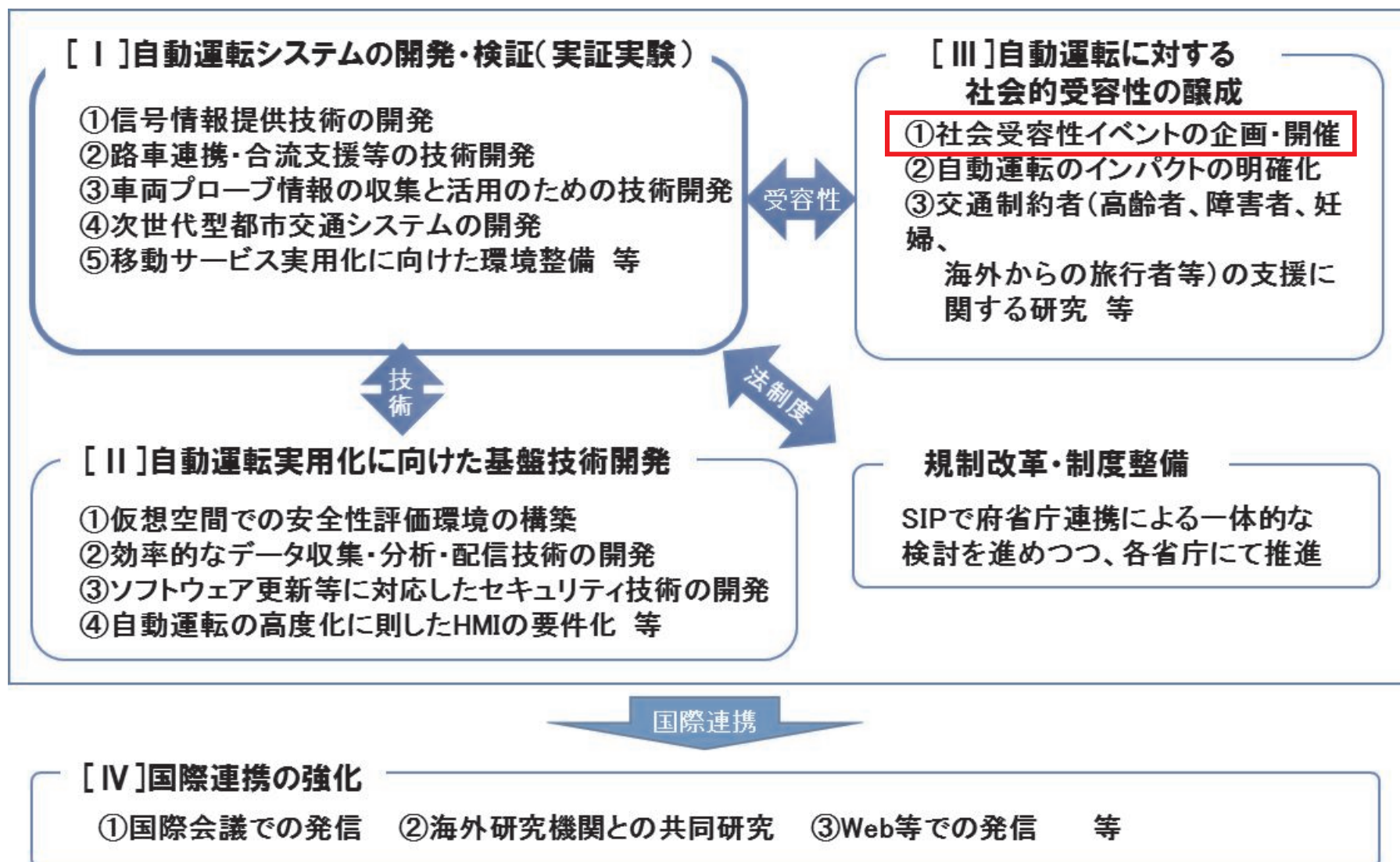
- ✓ 世界的に開発競争が激化する中、自動運転の実用化に向け**協調領域の課題**について**産官学連携**で研究開発を推進。
- ✓ 自動運転の実用化という多くの省庁（警察庁、総務省、経済産業省、国土交通省（道路行政・自動車安全））に跨がる課題解決のため、CSTIの**司令塔機能**により推進。

# 概要

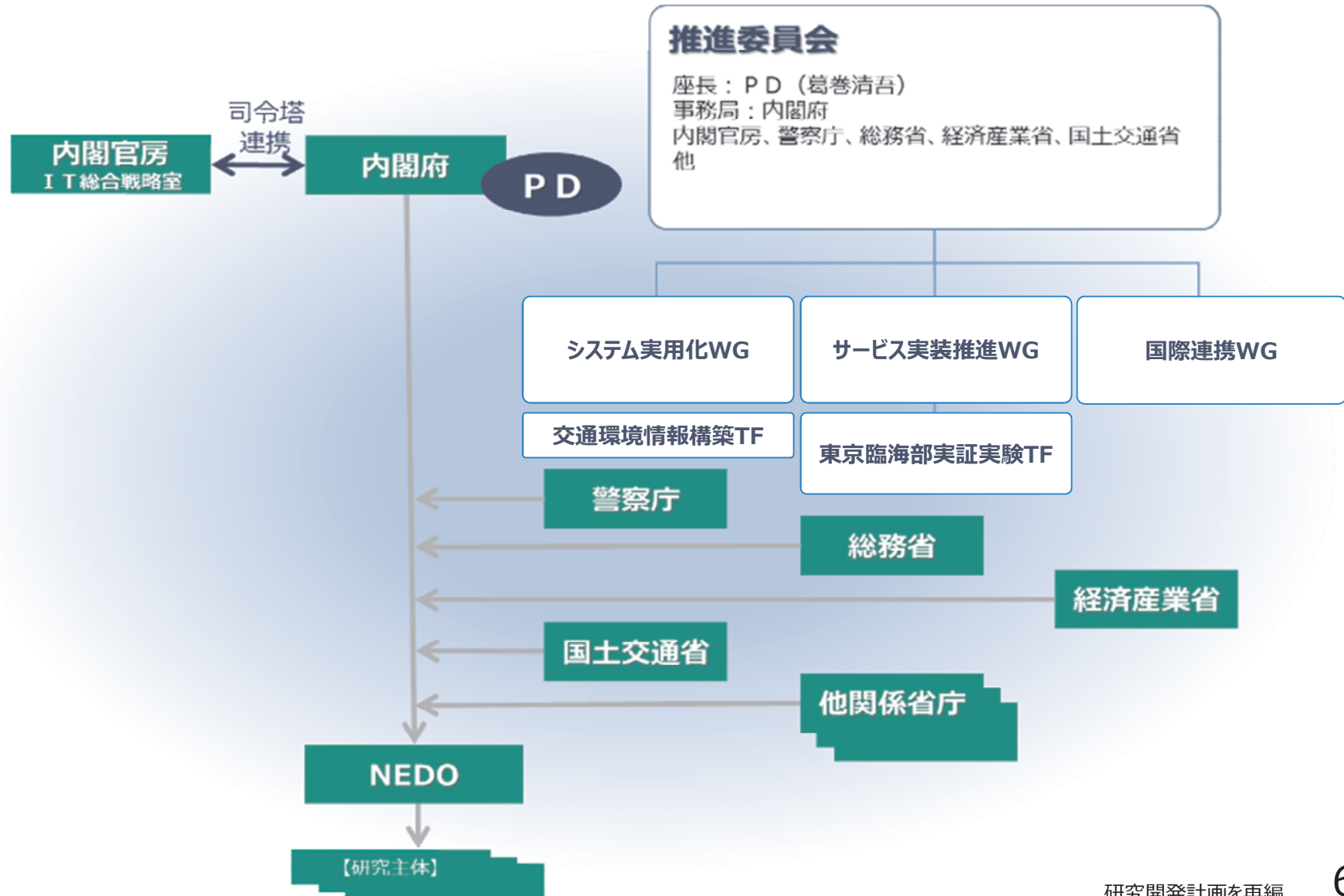
自動運転の実用化を**高速道路から一般道へ拡張**するとともに**自動運転技術を活用した物流・移動サービスの実用化**することで交通事故低減、交通渋滞の削減、過疎地等での移動手段の確保や物流業界におけるドライバー不足等の社会的課題解決に貢献し、**すべての国民が安全・安心に移動できる社会**を目指す。



\*SAE (Society of Automotive Engineers) : 米国の標準化団体



# 実施体制



---

---

# 「イベント等による社会的受容性の 醸成効果測定に関する調査」

## 公募概要

(提案時の注意事項)

自動運転の普及においては、交通参加者に対して、自動運転により得られる便益や効用だけでなく、生じ得るリスクについても明らかにし、自動運転に関する将来像やルール等を含めた全体像について、市民等への理解増進を図る等、**社会全体の認知度の向上と正しい理解を得る必要**がある。このためには、**継続的な情報発信や国民との双方向のコミュニケーションを積み重ねていく**ことが重要である。

中でも、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催時期に合わせて、**東京臨海部において計画されている実証実験の場は、自動運転に関する正しい理解を促進するための取組を実施する絶好の機会**である。

そこで、本調査においては、「社会的受容性の醸成に向けた戦略策定と評価に関する調査」による行動計画を受け、**具体的なイベント等を計画・運営し、そのイベント等の社会的受容性の醸成効果を測定**する。



本プロジェクトは、以下の**(1)~(3)のいずれかを選択して、提案をすることが可能**である。

項番	項目
(1)	SIP自動運転デモイベント（仮称）
(2)	人とくるまのテクノロジー展2020
(3)	地域での市民ダイアログ

次頁以降、上記(1)~(3)について説明する。

# (1) SIP自動運転デモイベント（仮称）



東京臨海副都心で、**日本自動車工業会（以下、自工会）と連携**して市民向けのデモイベントを実施すること。概要は以下の通り。

【概要】 日程：2020年7月6日(月)～12日(日)  
場所：**東京臨海副都心**  
内容：(ア)展示、(イ)試乗体験会、(ウ)シンポジウム等

上記について、以下の(1-1)～(1-3)の仕様を満たすこと。

項目	内容
(1-1) 計画策定	(a)工程計画策定 事前準備から撤収までの工程計画を策定すること。
	(b)会場計画策定 会場計画について、自工会との連携による相乗効果を考慮して策定すること。計画に基づき、会場を事前に手配すること。
	(c)登壇者計画策定 シンポジウム等の登壇者計画を策定すること。計画に基づき登壇者とスケジュールを事前に調整すること。
	(d)内容計画策定 (ア)～(ウ)の内容について計画を策定すること。策定にあたり、自工会と連携し相乗効果が高くなるよう取り組むこと。 <b>(ア)</b> については、自動運転による将来の社会像、技術や法制度等の最新情報、実証実験の結果、等を <b>パネルや映像等で展示</b> すること。他のイベントや、SIP自動運転の他施策（「社会的受容性の醸成に向けた戦略策定と評価に関する調査」等）で作成済みの印刷物等や動画を活用することで費用圧縮や期間短縮を図ること。展示物については、 <b>例えば英語のキャプションなど、海外の方が理解しやすいよう工夫</b> すること。 <b>(イ)</b> については、 <b>東京臨海副都心地域の住民の方への試乗体験機会を設ける</b> こと。 <b>(ウ)</b> について、 <b>平日に専門家向け、土日に一般向け</b> のシンポジウム等のイベントを実施すること。

# (1) SIP自動運転デモイベント（仮称）



項目	内容	
(1-2) 運営	(a)会場設計	受付、ブース展示、関係者控室、事務局用控室等を配置すること。
	(b)会場設営及び撤去	必要な物品購入や配送等も含めて設営及び撤去を実施すること。
	(c)運営マニュアル及びロジック作成	関係者間の情報共有のため必要事項をまとめること。
	(d)写真及び映像撮影	会場の様子がわかるように写真及び映像で撮影すること。
	(e)付帯業務	全体進行管理、照明・プロジェクター・スピーカー等映像・音響機器操作、参加者・出展者・招待者等からの当日の要望等への対応、会場の案内及び誘導・会場整理、参加者等の受付、来場者数のカウント、当日作成資料の作成補助・印刷・配布、等
	(f)取材対応	メディアからの取材対応等を実施すること。
	(g)報告	来場者数、来場者の反応、シンポジウム等の結果まとめ、等を報告すること。また、写真や映像も報告すること。
(1-3) 効果測定	－ 展示、試乗体験会、シンポジウムの参加者に対して <b>アンケート等による社会的受容性の醸成効果の測定を実施し報告</b> すること。なお、効果測定の方法については、アンケート以外の手法も提案すること。	

## (2) 人とくるまのテクノロジー展2020



市民及びメディアに対する理解増進を目的として、**市民ダイアログとガイドツアーを実施**すること。概要は以下の通り。

【概要】 日程：2020年5月20日(水)～22日(金)  
場所：**パシフィコ横浜**  
内容：(ア)市民ダイアログ、(イ)ガイドツアー

上記について、以下の(2-1)～(2-3)の仕様を満たすこと。

項目	内容
(2-1) 計画 策定	(a)工程計画策定 事前準備から撤収までの工程計画を策定すること。
	(b)会場計画策定 会場計画を策定すること。計画に基づき、会場を事前に手配すること。
	(c)登壇者計画策定 市民ダイアログ、ガイドツアーの登壇者計画を策定すること。計画に基づき登壇者とスケジュールを事前に調整すること。
	(d)内容計画策定 (ア)、(イ)の内容について計画を策定すること。 <b>(ア)について、市民の興味関心を引く工夫(テーマ、等)を図ること。</b> <b>(イ)について、ジャーナリスト等の専門家によるガイドツアーとすること。</b>

## (2) 人とくるまのテクノロジー展2020



項目	内容	
(2-2) 運営	(a)会場設計	受付、ブース展示、関係者控室、事務局用控室等を配置すること。
	(b)会場設営及び撤去	必要な物品購入や配送等も含めて設営及び撤去を実施すること。
	(c)運営マニュアル及びロジック作成	関係者間の情報共有のため必要事項をまとめること。
	(d)写真及び映像撮影	会場の様子がわかるように写真及び映像で撮影すること。
	(e)付帯業務	全体進行管理、照明・プロジェクター・スピーカー等映像・音響機器操作、参加者・出展者・招待者等からの当日の要望等への対応、会場の案内及び誘導・会場整理、参加者等の受付、来場者数のカウント、当日作成資料の作成補助・印刷・配布、等
	(f)取材対応	メディアからの取材対応等を実施すること。
	(g)報告	来場者数、来場者の反応、市民ダイアログ、メディアガイドツアーの結果まとめ、等を報告すること。また、写真や映像も報告すること。
(2-3) 効果測定	-	市民ダイアログ、ガイドツアーの参加者に対して <b>アンケート等による社会的受容性の醸成効果を測定し報告</b> すること。なお、効果測定の方法については、アンケート以外の手法も提案すること。

### (3) 地域での市民ダイアログ



**自動運転の実証実験**が検討・実施されている。このような地域において、**市民ダイアログを1回以上実施すること**。日程、場所、内容については、**内閣府/NEDOと協議**して決めること。

【概要】 日程：内閣府/NEDOと協議  
場所：内閣府/NEDOと協議  
内容：内閣府/NEDOと協議

上記について、以下の(3-1)～(3-3)の仕様を満たすこと。

項目	内容
(3-1) 計画 策定	(a)工程計画策定 事前準備から撤収までの工程計画を策定すること。
	(b)会場計画策定 会場計画を策定すること。計画に基づき、会場を事前に手配すること。
	(c)登壇者計画策定 登壇者計画を策定すること。計画に基づき登壇者とスケジュールを事前に調整すること。
	(d)内容計画策定 協議して決めた内容について計画を策定すること。

### (3) 地域での市民ダイアログ



項目	内容	
(3-2) 運営	(a)会場設計	受付、ブース展示、関係者控室、事務局用控室等を配置すること。
	(b)会場設営及び撤去	必要な物品購入や配送等も含めて設営及び撤去を実施すること。
	(c)運営マニュアル及びロジック作成	関係者間の情報共有のため必要事項をまとめること。
	(d)写真及び映像撮影	会場の様子がわかるように写真及び映像で撮影すること。
	(e)付帯業務	全体進行管理、照明・プロジェクター・スピーカー等映像・音響機器操作、参加者・出展者・招待者等からの当日の要望等への対応、会場の案内及び誘導・会場整理、参加者等の受付、来場者数のカウント、当日作成資料の作成補助・印刷・配布、等
	(f)取材対応	メディアからの取材対応等を実施すること。
	(g)報告	来場者数、来場者の反応、市民ダイアログの結果まとめ等を報告すること。また、写真や映像も報告すること。
(3-3) 効果測定	－ 来場者、体験会、市民ダイアログの参加者に対して <b>アンケート等による社会的受容性の醸成効果を測定し報告</b> すること。なお、効果測定の方法については、アンケート以外の手法も提案すること。	

## <調査に向けた留意点>

本調査を実施する上で、内閣府/NEDO、「社会的受容性の醸成に向けた戦略策定と評価に関する調査」の受託者と連携した上で対応すること。**連携のための定例会やコミュニケーション等の活動計画についても具体化して提案**すること。

- ・上記調査事業の実施体制の決定について

[https://www.nedo.go.jp/koubo/CD3\\_100182.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/CD3_100182.html)

## <参考情報>

SIP第2期自動運転（システムとサービスの拡張）における、これまでのイベントや地域での実証実験については以下のWebサイトをご参照ください。

- ・これまでのイベント等について

<http://www.sip-adus.go.jp/events/>

- ・地域での実証実験等について

<https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20191107okueigenji.html>

<https://www8.cao.go.jp/cstp/stmain/20191122kamikoani.html>



# スケジュールと予算



## <スケジュール>

NEDOが指定する日から**2021年2月末日まで**

	2020年									2021年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) SIP自動運転デモイベント（仮称）	→ 計画策定			▲	→ 効果測定							
		→ 運営										
(2) 人とくるまのテクノロジー展2020	→ 計画策定		▲	→ 効果測定								
		→ 運営										
(3) 地域での市民ダイアログ	協議の上、具体化すること											

## <予算>

2020年度の総額 **93百万円以内**

- 契約額は、審査の結果及び国の予算の変更等により、提案額から減額することがあります。
- 予算は(1)～(3)の全項目を受託した場合の総額になります。

# 本公募による委託事業の基本条件（1 / 2）



	委託事業
事業の主体	N E D O
事業成果の帰属	N E D O
NEDO負担額	直接経費 + 間接経費 + 消費税
消費税	費用計上対象( <b>10%</b> で計上)
間接経費	中小企業20%、大学15%、大企業10%
その他	研究開発独立行政法人から民間企業への再委託等は、原則、不可。

間接経費の詳細につきましては、N E D Oホームページより、下記URLをご参照ください。

■ 事務処理マニュアル（平成30年4月）Ⅷ.間接経費について

<https://www.nedo.go.jp/content/100875809.pdf>

■ 事務処理マニュアル（大学・国立研究開発法人用）Ⅷ.間接経費について

<https://www.nedo.go.jp/content/100877809.pdf>

## 契約

新規に業務委託契約を締結するときは、最新の業務委託契約約款を適用します。

【参考】

・委託事業の手続き：

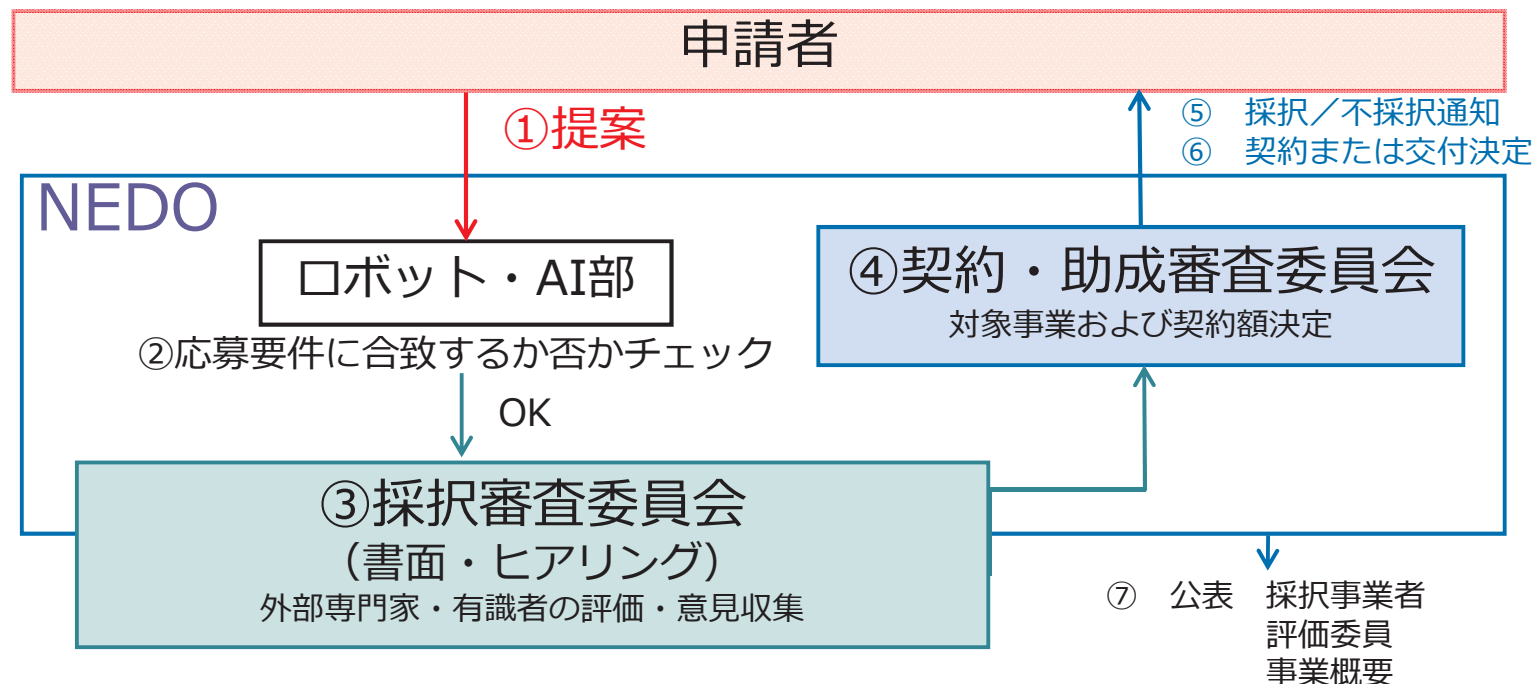
約款・様式 <https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>

次の a .から c .までの全ての条件を満たすことのできる、  
単独又は複数で受託を希望する企業等とします。

- a. 当該技術又は関連技術についての調査／事業実績を有し、  
かつ、調査／事業目標の達成及び調査／事業計画の遂行に  
必要な組織、人員を有していること。
- b. 当該委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有し  
かつ、資金等について十分な管理能力を有していること。
- c. N E D O が業務／事業を推進する上で必要とする措置を、  
適切に遂行できる体制を有していること。

## 外部有識者による採択審査委員会とNEDO内の 契約・助成審査委員会の二段階で審査します。

- 採択審査委員会では書面、ヒアリング審査により外部専門家・有識者からの評価を得ます。
- 契約・助成審査委員会では、採択審査委員会での評価を踏まえNEDOが定める基準等に基づき、最終的に受託者を決定します。
- **必要に応じてヒアリングや資料の追加等をお願いする場合があります。**



- a. 調査の目標がNEDOの意図と合致していること。
- b. 調査の方法、内容等が優れていること。
- c. 調査の経済性が優れていること。
- d. 関連分野の調査等に関する実績を有すること。
- e. 当該調査を行う体制が整っていること。
- f. 経営基盤が確立していること。
- g. 当該調査等に必要な研究員等を有していること。
- h. 委託業務管理上NEDOの必要とする措置を適切に遂行できる体制を有すること。女性活躍推進法に基づく認定企業(えるぼし認定企業)、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業(くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業)、若者雇用促進法に基づく認定企業(ユースエール認定企業)に対しては加点評価されることとなります。

a. 採択結果の公表等について


採択した案件（実施者名、事業概要等）はN E D Oのホームページ等で公開します。不採択とした案件については、その旨を不採択とした理由とともに提案者へ通知します。

b. 附帯条件

採択に当たって条件（提案した再委託は認めない、他の機関との共同研究とすること、再委託研究としての参加とすること、N E D O負担率の変更等）を付す場合があります。

# 公募スケジュール



- 2月5日(水) : 公募開始 
- 2月12日(水) : 公募説明会
- 3月6日(金) : 公募締め切り
- 3月中旬(予定) : 採択審査委員会
- 3月下旬(予定) : 契約・助成審査委員会
- 4月上旬(予定) : 委託先決定、公表



# 提出書類（委託事業）



- 提案書 15部（正1部 写14部）
- 会社経歴書 1部（※対象事業者のみ）
- 直近の事業報告書及び直近3年分の財務諸表  
（貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書） 1部
- ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況 1部
- 提案書類受理票 1部

本説明会以降の問い合わせは、**3月2日までに限り**下記宛に**電子メールにて**受け付けます。ただし審査の経過等に関する問い合わせには応じられません。

## 【問い合わせ先】

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

ロボット・AI部 栗田、牛島、林

E-mail : sipadus\_publicoffering@nedo.go.jp

# 提出期限・提出先



- 提出期限：

2020年3月6日（金） 正午（持参または郵送必着）

- 提出先：

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

ロボット・AI部 モビリティG 宛

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310

ミュージアム川崎セントラルタワー19階

※持参の場合はミュージアム川崎16階の「総合案内」の受付の指示に従ってください。

---

# 質疑